

大人と子どもで楽しむ絵と音楽 ～出会いがはじまり～

美術館では、日ごろから絵や音楽をあまり楽しめないと感じている方や、これから絵や音楽に接する機会の増える子どもたちを対象に、本当に楽しい絵と音楽の世界を紹介します。4回目となる今年のテーマはく出会い。絵や音楽とのすてきな出会いを一緒に楽しみませんか。ぜひ、気軽にご参加ください。

と き：3月23日(日) 午後2時～3時30分
内 容：◎音楽との出会い～拍子^{からだ}を身体で感じよう
皆さんご存じの「あんたがたどこさ」を歌いながら、身体でリズムを取ります(講師：宮地ゆみ氏)。
◎絵との出会い～く出会いの美術>展を楽しもう
美術館特製パンフレットで、絵に親しむためのヒントを紹介後、開催中のく出会いの美術>展を見て歩きます(講師：美術館学芸員)。

参加料：大人300円、子ども(小学生以上)100円
定員：50名
申込方法：電話で申し込む(美術館：☎50-1200)



昨年の様子

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

時代小説ブームの中で

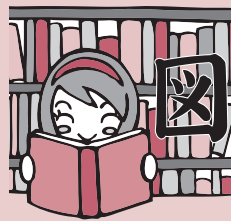
ここ数年、時代小説が静かなブームとなっており、たくさん作品がテレビドラマや映画化されています。皆さんの中にも時代小説ファンという方も多いのではないのでしょうか。

時代小説は、過去の時代(主に江戸時代)の人物や出来事などを題材として書かれた文学です。大正二年に新聞に連載された中里介山の『大菩薩峠』がその出発点とされています。その後、吉川英治の『宮本武蔵』や大佛次郎の『鞍馬天狗』、五味康祐の『柳生武芸帳』、柴田錬三郎の『眠狂四郎無頼控』など、多くの作家がヒーローを主人公にした時代小説を著してきました。

しかし、ここ数年の時代小説ブームは少し様子が違うようです。例えば、立て続けに映画化されて一躍脚

本を楽しむコラム

図書館へ行こう!



光を浴びた藤沢周平の『連の作品』『たそがれ清兵衛』、『隠し剣鬼の爪』、『蟬しぐれ』、『武士の一分(原作名)』『盲目剣(弐返し)』では、『藩』という組織の中で翻弄される下級武士が描かれています。このように、今、読者の心をとらえているのは、かつての超人的なヒーローが活躍する作品ではなく、下級武士や庶民といったごく平凡な人物を主人公にした作品のようです。

今の時代小説ブームを支えているのは、主に四十・五十歳代の会社員の男性だといわれています。「会社」という組織の中に身を置いている自分自身と小説の主人公の境遇が重なり、すんなりと感情移入ができるのです。

あなたも、江戸時代を舞台として現代社会を描いたともいえる時代小説を読んでもみませんか。